

やぎやまのあそび・やぎやまのあそび・やぎやまのあそび

9月23、24日

広島連絡会議

弥栄に留守番ひとりを残して、ほかメンバー全員が勢揃いしてのミーティング。

①「ほみ易く、産み易く、育い易い弥栄にするために」と題して集団内の問題を話し合う。

②夏以降の状況の報告と総括（キャンフ、直販、生産、共同耕作、人民工作、会計、金稼ぎ、コミュンヒロバ、塾生）

③今後の人の動きと越冬体制
10月5日 オ一回子ども会

児童文庫用本棚を部落の子どもらにつくる。集まったのは4人。これでも50%の参加率。

最初は、けげん顔の子どもも、

クレヨンやボール遊び、ラジコン

自動車の登場に、少しずつうちと

けてきて楽しそう。以後、毎週土

曜の午後、皆で遊ぶことにした。

10月7、8日

フルで果樹園用地開墾

10月9日

ヒヨコ25羽導入

一週間おくれで到着。静岡から

の長旅にもめげず、たいへん元氣

でした。

10月10日

弥栄村大運動会

一軒家が三種目制覇、ハムロが

800m2位を勝ちとるなど、共同体

の面々大活躍

10月10、20日

幻の収穫キャンフ。

10月17日

共同直販出荷農家の集い

共同直販に出荷している農家の

部落ごとの代表が集まって来年度の

直販の話をする。野菜づくりの好

きなおばちゃんたちの目が輝き、

話ははずむ。

10月18日

山師、大阪へ（出稼ぎオ一陣）

10月23日

橋谷、婦人会

いつもの集金のあと、時間をもち

らって、共同直販の話し合いをする

10月24日

ハマ、免許とって広島へ。

近藤さん、弥栄へ（不景気でコ

ーキングをクビになったとか）。

10月26日

共同直販農家の集い（野坂）

この野坂は、共同出荷体制のい

ちばん進んでいるところ。

10月27、28日

千ユー太、弥栄へ

「脱穀講習会」

11月5日

大掃除

天井のくもの巣をはらい、障子

紙を貼りかえて、持ち主不明の洗たくものを、洗たく機でサッサッ。みちがえるようにうききれいになりました。

11月6日 酒吞公会

組の人(世目原)を呼んで、山師とハスンをだして、酒を吞む会

11月7日 県農協青年部の人訪弥

レポートを書くために来たとか。乗用車でのりつけて、我々が忙しく労働しているなか、ポケットに手をつっこんで、何やかやと質問するだけして、まだ日の高いうちに帰っていった。あんな奴に、何がわかる？

小島土地交沙——来年も、佐々木さんの畑を 共同体で使うこと

になる。(小角工作の足がかりとして) 11月9日 横谷部落 秋祭り

婦人会活動である。祭りの売店

運営に参加。手づくりの景品と三

角くじに、子どもらは大はしゃぎ。

小学校4年生の少年がぐら(石見の

ぐら)も登場し、集会所は一晩中、

熱気あふれる。

11月10日 イナ、クリ林、広島を経

て大阪へ(出稼ぎオス陣)

へムロ、広島へ

11月11日 今年最後の青空直販

11月14日 オ一回タール。宅配(前

掲の報告書参照)

11月30日~12月1日 広島連絡会議

①弥栄・広島・大阪それぞれ

活動報告、会計報告 ②来春以降

へ向けての、越冬出稼ぎ体制づく

り。要するに、この冬も来春も

大忙しなのです。

12月8日 反民塾の集會に参加

弥栄での具体的な活動内容紹介

12月13日 立教大で集會

弥栄の現状報告を行なう。

12月14日 東京方面のキャンパー集會

後掲の「コミュニケーション・ヒロバ」欄参照

照

⑦12月22日 コミュニヒロバNo.21発行

⑧12月17~25日 広島へこむうな塾 Winter

Adapt

⑨12月26日 広島供給センター店じま

い、大阪へ集合

⑩1月4~7日 正月キャンプ。コミュニケーション校

わがなをい わがなをい わがなをい

横谷・いばむきや

ゼン・いばむきや

1. はじまりはじまり...

今、大阪へむかう前の部屋の壁に、模造紙半分大のへこども新聞といふものがはられていた。主にマジックインキでなぐり書きされた、落書き帳のページのような紙面である。これがへ横谷のこどもらが、大阪へ出稼ぎに来た私たちにと書いてくれたへてがみである。

1. こども会・出発！ みんなでおへん

今年の10月から、横谷のこども会をつくろうと、毎週土、学校の退け

る午後から、集会所に遊びに来るよう、こどもらに呼びかけている。

横谷のこどもは、小学生5名、

幼児3名、乳幼児3名、中学生、

私たちが、こども会の対象として

考えているのは、小学生と幼児の

8名である。中学生は、寮生活を

していて横谷の日常から離れている

ため、接触を保ちにくいし、また、

乳幼児に関しては、おそらく完全に

保育園の性格を帯び、ちょっと手が

まわらないといった事情のために、

2. こども会として 「キョドタイ」のひと

—— 弥栄より送られてきた手紙が

ら、こども会の様子を探知。——

本日、オマエ回りのこども会

参加者—— ひろあき（小5）がず

ちゃん（小3）みいちゃん（小

5）じゅんちゃん（4つ）とし
ちゃん（6つ）

一軒屋、羽原（キャンパー）、

イチちゃん

卓球組とおえき組とに分れて時

間を使った。

おえき組は、主にじゅんちゃん

としちゃん。一軒屋がコーチ。くれ

よん、マジック、色鉛筆を、いんだ

んに使って描く。描きながら、一軒

屋は、紙の上でのあそび、——こ

こを始める。

—— 今度は皆で食べられるような大

きなホットケーキ書いて、

—— 皆の分切ってわけてちょうだい。

絵を描くのは、今回、模造紙半分

の大きさ。先回、まるまる一枚を

使ったら、大きくてはり出すのに

困ったから。絵は、わら半紙にも

描ければ、必ず模造紙に大きく描くようにさせている。そして、はりだすここに慣れさせてから、次には紙面の構成、書く内容を（絵であっても）皆で考えるようにさせ、しだいに壁新聞づくりへともっていかないと思っている。

ひろあきの相手は、もっぱら羽原氏。彼は卓球がうまくて、スポーツ万能のひろあきを夢中にさせていた。卓球台をみりちゃんやかずちゃんや私が使っているときには、ホウキでピンポン玉をころがし、ホッケーまがいのことをして、集会所内をかきまわっている。

今回、帰る前に、皆集めて、車座になり、少しだけ、へ今日、どうだった？ この次、どうしようか？ という話をしたけれど、一軒屋から

へああいうのは、こともばしらけてしまう」と云われた。

けれど、時間の使い方を構成するようにしたい、時間内の動きのパターンをつくりたい、だんだん坐って話す時間ももっていきたい。

3. このころが 大きくなったら：

部落には、婦人会、老人会、常会とあるが、こともうが一同に顔を揃えるのは、部落の行事のときしかない。部落の人たちより多くの接触面を持っていくことを考えた場合、次の世代であることもうが、大きくなって横谷から離れていくのを、唯見送すことはない。そこで、私たちのめられる提案としてへことも会ということを考えた。

そしてとにかく、今まで救回もつ

たことも会で、こともうと共同体のメンバーが、顔馴染みになることはできた。が、まだ、自分だけの満足できる遊び、遊び方を考え、その相手をしてくれる人として共同体の人を介している。個人フレーの重なりでしかない。

最小限、こともう皆が、互いを単に遊び友達というだけでなく、何かをするときの仲間として意識するようになってほしいと、現時点で私は思っている。

また、ことも会での時間を、与えられるものとして待つのではなく、自分で、一人一人が何かをもってきて、ことも会がつくられるようになること、それが、当面の目標と思っている。

（文責 佐々木）

キャンパーかづの手紙

10月19日定例会より

拝啓、共同体運動にたずさわって
いる皆さん。東京から弥栄へキャン
プに行った人達は、月に二回、集り
をもっています。この前、こ
の集まりにいろいろ提案が
出されましたね。それに
ついて、若干みんなで話し合
ったことを述べてみます。

弥栄の連絡協賛としての申請につ
いてですが、共同体運動の東京にお
ける推進力としての役割をはたすこ
うのことならば、お断りします。

キャンパーの会の中で、そういう
ふうにやりたいという人がでてくれ
ば別ですが、現在、できたてのキャン
パーの会は、運動の団長によって
動くことはできません。

キャンパー達自身として、今のつ
ながりをその場限りになさせない
あるいは弥栄は単なるキッカケであ
る、などの意見が出されました。そ
して、弥栄との連絡は保っていくが
一応独立してやっていくとの考えに
全員が一致しました。しか
し、情宣等の正副
に對す

るゆきかけ
はやってもらい、
と云う人も中にはいます。……
(後略)

オの信

11月2日の定例会

前回、一応キャンパーに限った集
まりにしようとした意見の根拠は、
場所的、時間的に、またコミュニケ

ーションの密度上、人数が限られて
くるだろうということ……。

外に対して開いたものではないと意
味がないし、来る人は誰でも受け入
れるものにした。

まだ、会の実質がないのに呼びか
ける不安については、今回はこれこ
れのテーマで話合う、という呼びか
け方でよいのではないかと……。

★定例会は 毎月オ1・3土
曜日、夕方5じー

★場所 杉並区浜田山4
-33-1 光栄荘 神山サキ
工宅にて

★TEL連絡は、03-469-6282

山中さんマテ